

■賃貸物件と売買物件はどちらが得か！！

●賃貸アパート、賃貸マンションは住み替えが簡単にできるメリットがあります。

しかし、若いうちはどこでも大家さんが入居許可を出して貸してくれますが、50歳ぐらいからになると一生ずーと住まわれても困るなという見方になってきます。

なぜなら賃貸物件は古くなってくと建て替えの問題が出てきて、借主も60歳を過ぎると定年退職をして仕事がなくなり、移り住むことができないとのことで引っ越しができなくなる場合が多くなります。

大家さんとしては引っ越しをしてもらわないと建て替えができなくなり、困ったということとで立退きを迫ってきます。

ですから60歳を過ぎて部屋探しをすると、なかなか貸してもらえず部屋が見つからないという事態が発生します。また年金暮らしになると一般的に年金の60%程が家賃に回っていき生活が立ち行かなくなるケースが多くなります。病気をすると医療費にたくさんの費用が掛かり家賃を払えないケースも多くなり、賃貸は家賃を一生払い続けなければならず老後生活が非常に不安定になります。ですから若いうちは賃貸でもよいですが、老後を考えて持ち家が良いとなってきます。

●持ち家であれば家賃並みの支払いにした住宅ローンは定年までに終わるように組んで、定年後は支払いが全くなり年金を全部老後の生活に回せます。

また、持ち家を担保に生活資金を借りることもでき、売却して有料老人施設にお金をもって入所することもできます。

持ち家は社会的な信用と信頼もでき、子供が学校の友達を遊びに連れてくることも多くなります。賃貸物件では子供が全く学校の友達を連れてこないの、子供には学校の友達がいないのではと母親が思っていて、家を買ったら学校の友達が毎日のようにたくさん来て子供にも肩身の狭い思いをさせていたとしみじみと話していました。

●家賃は一生の支払いで老後生活が不安定、住宅ローンは必ず終わり老後生活が楽で安定します！！